

第105回 理事会（平成18年度第4回）議事録

財団法人 神奈川県スキー連盟

1. 日 時：平成18年7月29日（土）15：40～17：30
2. 場 所：神奈川県社会福祉会館 4階第1、2研修室（横浜市神奈川区沢渡4-2）
3. 出席理事：（副会長）野地 澄雄、山田 隆、八尾 勉
（専務理事）片 忠夫
（常務理事）上田 英之、木村 徳善、菊地 富士夫
（理事）徳本 進、川田 光代、吉野 大成、藤田 浩介、金子 理人、
国島みどり、清水 忠、岡本 洋一、小池 光、森本 珠水、
平沢 幸一、斎藤 幸雄、吉岡 去私、平賀 淳夫、荻野 恭宏
欠席理事：（会長）河野 洋平
（常務理事）三塚 康雄
（理事）百海 廷
4. 出席監事 木村 信吉、内海 雄三
5. 議長選出 片 忠夫専務理事を指名
6. 議事録署名人選出 徳本 進理事、吉岡 去私理事を選出
7. 書記 金子 理人理事を指名
8. 議 事
- 1) 競技本部関係
- (1) 報告事項
 - ① 菊地本部長より、県体協モデル事業については次回理事会で資料を提出することの報告があり、了承された。
 - ② 菊地本部長より、24日から27日にメンタル、フィジカル、栄養の個別面談を実施した旨の報告があり、了承された。
 - ③ 菊地本部長より、アルペンの専門委員が揃っていない旨の報告あり。加盟団体から出ていないことから昨年のメンバーへ連絡、了解をとり、専務理事・常務理事で審査を行ない、事後承認することで了承された。
- (2) 審議事項
 - ① 菊地本部長より、「環境保護」・「青少年育成」の委員会を立ち上げたい旨の提案があった。県体育協会の競技力向上委員会山下会長からの要請あり、競技エリア内での禁煙等を検討していきたい。山田副会長から、SAJも「社会貢献」がメインテーマであり、来週以降の専門委員会の様子を見る必要あるとの説明があった。片専務理事より、SAJの様子をみながら、SAKツール内に1ページを、主旨・取り組みについて差込み間に合うかはあるが掲載する旨の提案がなされ、承認された。
- 2) 教育本部関係
- (1) 報告事項
 - ① 木村本部長より、下記行事（別紙配付資料）に関する報告があり、了承された。
 - イ) 第4回教育部会開催
期日：6月27日（火）19:00～ 県連事務所
出席者：6名
 - ロ) 第1回教育作業部会開催
期日：7月4日（火）19:00～ 県連事務所
出席者：6名
 - ハ) 第5回教育部会開催
期日：7月6日（木）19:00～ 県連事務所

- 出席者：6名
- 二) 強化行事Ⅰ オフトレーニング(A)開催 昭和電工(株) 体育館
- ・第1回 7月8日(土) 参加者13名(コーチ：清水康裕) 参加理事3名
 - ・第2回 7月15日(土) 参加者13名(コーチ：清水康裕) 参加理事3名
- ホ) 第6回教育部会開催
- 期日：7月18日(火) 19:00～ 県連事務所
- 出席者：9名
- ヘ) 第2回教育作業部会開催
- 期日：7月27日(木) 19:00～ 県連事務所
- 出席者：6名
- ト) 強化行事Ⅰ オフトレーニング 開催(予定)
- 期日：8月5日実施予定。要綱決まり次第HPに掲載する。
- ② 木村本部長より、SAJ専門委員の選出及び決定について報告があり、了承された。
- ③ 木村本部長より、専門委員の2期目と新人に対して活動の説明を行う、教育新人セミナーを8月4日(金)に社会福祉会館第4研修室で開催する旨の報告があり、了承された。
- ④ 木村本部長より、日赤救急員養成正規講習会開催に関しての報告があり、了承された。
- 期日：9月2日(土) 9時集合 日赤神奈川支部
- 期日：9月9日(土)/10日(日) 18時解散 三浦ふれあいの村
- 会費：3,000円
- ⑤ 木村本部長より、今年度からSAK準指導員検定会単位制を導入することで進める。詳細の運用については、今後の理事会で報告することで了承された。

(2) 審議事項

- ① 木村本部長より、「指導員養成講習会理論Ⅰ」の日程変更(会場の都合により、10月29日(日)から10月28日(土))の提案がなされ、HP・ツール及び手続き要項説明会で連絡することで承認された。
- ② 木村本部長より、SAK教育専門委員の選出(別紙添付資料)の提案がなされ、承認された。
- ③ 木村本部長より、ブロック技術員ユニホーム着用については、片専務理事と協議し、購入することの提案がなされ、県連行事はSAKユニホームを着用することで、承認された。
- ④ 木村本部長より、「SAJスノーボード技術選手権全国大会選手推薦について」、「SAKスノーボード強化指定選手について」及び「全国スキーパトロール技術競技大会選手推薦について」(別紙資料)の選考基準の提案がなされ、片専務理事より誰が何処でどうするか等を明確にし、規程を作成することの指示があり、再提案することとした。

3) 総務本部関係

(1) 報告事項

- ① 慶弔関係について
- 特になし。
- ② 資金運用状況について
- 藤田理事より、6月末現預金残高の報告があり、昨年同時期より100万円ほど増えているがこれは県体協の補助金90万増えているとの説明があり、了承された。
- ③ 総務委員会
- 次の各理事から報告があり、了承された。
- イ) 電子申込み委員会(徳本事務局長)
- 徳本事務局長よりSAKツール用資料作成に向け活動中。
- ロ) ウェア委員会(川田理事)
- 委員会メンバー選出の報告あり。上田総務本部長、小池理事、百海理事、吉岡理事、川田理事、イエティー(メーカー)にお願いします。お盆明けから、グッズの検討を行う予定ですが、アイデアがありましたらご提案願いたいとの要請あり。
- ハ) 普及振興委員会(吉野理事)
- ジュニア行事は、12月24日頃、2月第3週の2回で実施予定で、場所は車山高原以外で特に初心者でもリフトを使用して滑れる場所を選定中。
- 二) 協賛会員拡大委員会(上田総務本部長)

各理事2社以上紹介頂きたい。

ホ) 個人情報保護委員会（徳本事務局長）

専門委員への教育、HPの更新を計画します。事務所のキャビネに鍵をかける事、ファイルにはパスワードの付加を徹底する。尚、事務所書庫鍵問題は、事務局で再検討する。

ヘ) H C 委員会（国島理事）

6月27日に夢国体基金の説明会に出席し、申し込みを行った。

7月25日に第1回H C 委員会を開催。委員長に神谷氏、副委員長に渡辺氏、中谷氏が選任された。議題はH C セミナーの内容打合せを実施した。次回は8月7日の予定。

賛助会費については、7月末現在 215,000円

ト) 広報委員会（金子理事）

「S A Kだより第52号」の原稿を来週印刷所に渡す予定である。

チ) 規約規程委員会（徳本事務局長）

規程集を評議員、規約規程委員へ配布することで準備中である。

④その他

イ) 藤田理事より、S A J 事務担当者会議に出席し、以下の報告があり、了承された。

期日は7月14日、場所は品川プリンスホテルで開催。県連からは藤田理事、岡本理事、伏屋事務局員、S A J 側には山田理事が出席。

主な報告事項は以下のとおり。

- ・総務本部村里本部長から昨年の収支について36.6百万円の赤字報告があった。
- ・総務本部瀬尾副本部長より役員定年に関する規定、公認スキー学校表彰基準要綱、国民体育大会スキー競技参加資格等細則、個人情報保護法について説明あった。
- ・競技本部古川本部長よりトリノオリンピック及びワールドカップの競技成績報告があった。
- ・教育本部平川本部長から、来シーズンの行事予定、公認スキー学校等表彰制度、運営方針について説明があった。
- ・議題として、H18年度会員登録報告（神奈川県は、全国4番 5,855名）、H19年度会員登録事務（事務説明、手続き周知）、H19年度競技者登録事務（SAJ会員書へのSAJ及びFIS競技者番号の手記入依頼）、SAJ補償制度（あいおい損保）、各種送金案内書について報告があった。
- ・岡本理事より登録事務のIT化について提言した所、S A J 事務局より神奈川県連に対して登録事務の精緻化につき要請があった。

補足説明として、山田副会長より、S A J 事務担当者会議で塩島次長より、神奈川県登録で45万円の間違いがあり、SAJ合理化の妨げになっているとの苦情を受けた旨、報告があった。

次年度このような間違いが無いように注意することの要望があった。

平沢理事より、S A J 登録について差が拡大した理由について質問があり、上田本部長からは担当理事がS A J に提出・指摘を受けることで簡素化を図ったが、フィードバックも無く素通り状態となってしまう、このような結果となった。今後は原点に戻り、県連内部でのチェックの徹底を実施する旨の回答があり、了承された。

ロ) SAJ報告について

山田副会長より、S A J は社会貢献が今年のメインテーマとなっている。現在、企業に課せられている社会貢献を、県連等へ委託できるようなシステムを現在スポーツビスが企画し、博報堂で協賛企業を探している。

ハ) 手続き要領説明会スケジュール

徳本事務局長より、当日スケジュール（配布資料）の説明があり、了承された。

上田本部長より、当日各本部で、パワーポイント等でビジュアル化を図り、実施するように協力要請があった。

二) S A K ツール進捗状況について

徳本事務局長より、配布資料にて説明があり、各本部へ原稿最終要請があり、了承された。

ホ) 共有ファイルについて

上田本部長より、県連の第2サーバーに各本部のフォルダを作成（セキュリティは実施）し、外部からファイルを共有できるようにした。使用方法については、後日案内するが、アドレス、ID、パスワードについては、理事以外に公開しないよう指示があり、了承された。

ヘ) 県体育協会からの依頼事項について

徳本事務局長より、県体育協会から「山下泰裕会長と語る会～加盟団体理事長・関係団体代

表者会議～」(8月31日17時30分～20時30分 ホテルコスモ横浜)の開催案内通知がきており、県連より1名が出席することです承された。

(2) 審議事項

① 平成17年度事業報告・決算承認について

上田本部長より、本日の評議員会で承認いただいたが、決算変更報告として夢国体の一般会計から特別会計への支出分が補助金と県連負担金の両方を足して多く修正してしまった。この分を正常に戻し、ハンディキャップ行事分と行事の振り分けが出来ず、雑費で計上していた10万円で修正を行い、今回の結果に至った報告があり、これにて事業及び決算報告、監査報告を承認したい旨の提案がなされ、出席理事全員により承認された。

② 事業会計ルールの徹底とルールの追加について

上田本部長より、事業終了後2週間以内完成を徹底して欲しい。監事からの指摘事項通り、定期的なプリ監査が出来るような体制となるようご協力頂きたい。また事業終了後、1ヶ月以降は原則追加を禁止したい。今回多くの事業報告で、会計担当理事が精査実施後、追加があったことにより、決算報告ぎりぎりまで、精査に追われた実情があった。今年度は、追加分は原則雑費処理とすることで提案がなされ、承認された。

③ 県連会計の税務対応について

上田本部長より、野地副会長にご紹介頂いた、久保田税理士から、大会関係、普及振興、指導員育成などの事業、広告収入が消費税に該当するのではとの指摘があった旨報告があった。今年度は、税の該当することは了承しているが、予算措置も取られていないことから研究課題とすることの提案があった。結果によっては、来年度予算に計上させる。4年程前に、横浜税務署法人課から問い合わせがあり、会計諸表を送り確認したが、消費税の該当ではないとの手続きは実施済み。当時は、上限3000万円の時期で、現時点(法改正後)は不明で、以上の内容について、承認された。

④ 9月度理事会日程変更について

上田本部長より、当初9月11日(月)を9月2日(土)10時～11時30分とすることの提案がなされ、承認された。

⑤ SAJ総務本部専門委員推薦について

上田本部長より、厚木市スキー協会の阿部文善氏をSAJ総務本部専門委員へ推薦する提案がなされ、承認された。

⑥ 五竜IでのHCセミナー参加指導員も研修会単位について

上田本部長より、五竜Iハンディキャップセミナーへ多くの方の参加要請を行っているが、指導員についても、参加者にはハンディキャップという研修テーマとして取り扱い頂き研修会単位に含めることについて提案がなされ、承認された。

⑦ 規約規程の審議について

徳本事務局長より、前回理事会で提案審議された、「全日本スキー技術選手権大会派遣選手選考規定」及び「SAK教育本部指定選手選考基準」について、今回継続審議の提案となっており審議の結果、承認された。

4) その他

① 監査指摘事項について

内海監事より、平成18年度監査指摘事項(別紙)に基きコメントがあった。事業報告を2週間以内で完了することを遵守頂ければ、監査も楽になるので、宜しくお願いしますとの要望がなされた。片専務理事より、事業報告をきちんと提出出来るように対応することの回答があった。

② 県スキー指導員会との打合せ

上田本部長より、指導員会との打ち合いを8月9日(水)に、常務理事以上及び事務局長で実施することとした。

③ 県連のユニホームについて

野地副会長より、新役員・専門委員の県連ユニホーム案内状況について確認があり、上田本部長より案内を出す方向で調整している旨の回答があった。

④ 東京都スキー連盟70周年記念式典について

片専務理事より、慶弔関係で東京都スキー連盟70周年記念式典に祝1万円を付け加える

- よう指示があった。
- ⑤ 新専門委員への委嘱状について
片専務理事より、新専門委員への委嘱状を出すよう事務局へ依頼があった。
 - ⑥ 規約規程委員会の開催
片専務理事より、規約規程委員会は前回役選委員会時に問題提起されているので、専務理事、常務理事、総務本部長、事務局長を含め開催するよう指示があった。
 - ⑦ 野地副会長のコメント
 - イ) 東京都スキー連盟 70周年記念式典参加報告
標記の記念式典に参加しました。参加者は500名（来賓は110名程度）ぐらいで、赤坂プリンスで開催された。記念誌・記念品は、専務理事に渡してあるので、2年後の県連式典に参考にして欲しい。花輪は南関ブロックの申し合わせで出さなかったが、見た目印象が良いので、今後は出してはどうか検討要望があった。
 - ロ) 河野会長からのご提案
河野会長の公認会計士が、関係団体の会計処理（決算、預かり金状況）に目を通していている。小田原事務所で公認会計士と、会計処理について打合せを行って欲しいとの要望があった。8月第1週か2週に、野地副会長、片専務理事、上田本部長で伺いたいと考えている。また河野会長と新役員との打合せを9月1日15時より議長公邸にて実施したい。常務会のメンバーから出席できる人で調整することとした。

この議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人、下記に署名する。

平成18年8月10日

議 長

印

議事録署名人

印

議事録署名人

印